

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

令和8年8月24日

エリアデザイン調査特別委員会

速 報 版

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

午後1時27分開会

○横田ゆう委員長 それでは、おそろいですので、これよりエリアデザイン調査特別委員会を開会します。

————— ◇ —————

○横田ゆう委員長 まず初めに、記録署名員の指名を行います。

しぶや委員、へんみ委員、よろしくお願いします。

————— ◇ —————

○横田ゆう委員長 次に、陳情の審査を議題といたします。

5受理番号23 綾瀬小学校内の「わくわくにこにこ図書の森」を真に地域に開放された場所にするため旧こども家庭支援センター跡地施設内に移設拡充させることを求める陳情、これを単独議題といたします。

前回は継続審査であります。

また、報告事項①綾瀬・北綾瀬エリアデザイン（綾瀬ゾーン）の取組状況についてが本陳情と関連しておりますので、併せて執行機関より説明を求めます。

○都市建設部長 よろしくお願ひいたします。

まず報告資料2ページでございます。件名、記載のとおりでございます。

まず初めに、綾瀬駅西口周辺イメージ改善に向けた取組についてでございます。

まず、綾瀬駅西口イメージアッププロジェクトの概要★★いただいております。以下、（2）としまして昨年度の成果、（3）としまして今年度の目標、到達点でございます。

3ページ移りまして、下段のところにオの課題でございますが、今後シャッターアートを実現し

たいと思っておりますが、壁の使用の可否等の課題を整理していく必要があると考えております。

（4）今後の予定でございますが、令和8年度の11月、12月に引き続きイベント、令和9年度も引き続き、環境改善の取組を継続してまいります。

続いて、4ページでございます。

項番の2、綾瀬小学校わくわくにこにこ図書の森の利用状況についてと、（2）としまして、夏休み以降のイベントについて10月4日に実施する旨記載しております。

私からは報告以上でございます。よろしくお願いいたします。

○横田ゆう委員長 それでは質疑に入ります。

何か質疑はありませんか。

○佐々木まさひこ委員 それでは、私の方から綾瀬・北綾瀬エリアデザイン（綾瀬ゾーン）の取組状況についてですが、私東和1丁目に住んでるので、綾瀬駅は利用しますけれども、ほとんど東口、西口あんまり行かないですね。だから今日改めて午前中、西口行ってみて、この6ページにある表の図のところをちょっと歩いてみたのですけれども、朝の時間帯ですから、夜だとまたその様子が随分変わるのだろうと思うのですけれども、現状課題に書いてある暗い、それから飲み屋などマイナスイメージがあるというその言葉どおり、という印象でございますよね。30年も40年も前から大体西口の風景はほとんど変わってませんので、そういう感じだと思いますけれども。

シャッターアートも一案だというふうに非常に思います。いいアイデアだと思いますけれども、基本的に明るさ、高架下のバス停留所のところ、8か所ぐらいLED照明を付けてくれて、少し明るくなってるのですけれども、やっぱり全面線路になってますから暗い。あとあそこの今回の図のところも、全体にやっぱり暗い感じがするのですけれども。その辺りを明るくLED照明でも何で

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

もいから付けて、ちょっと明るい雰囲気にして
もらうということは可能なのではないか。

○まちづくり課長 明るくというところが、2つあるのだと思います。佐々木委員おっしゃるように暗さ、何でしょう、明暗の明るさというところと、あと雰囲気の明るさみたいなところもあるかと思うのです。

確かに明暗の暗さという部分もあるかと思います。そういう面では、おっしゃるように駅前広場のロータリーのところですか、あるいはまた高架の間のところについては、こちらの東京メトロとJRというところになりますので、その辺、今いろいろ相談をしているところありますので、今はシャッターアート、ウォールアートというところを考えていますけれども、そういったところも含めて引き続き、協議、検討をしてまいりたいと考えてございます。

○佐々木まさひこ委員 私、でも決して雰囲気暗い、よくないとは言ってますけれどもね。西口の方々に失礼でございますので。

飲み屋街、あとはシャッターが閉まってるようなところもあって、そういった部分も若干あるとは思いますが、特にバス停の下、高架下はあれだけ照明付けてくれても、朝の9時前後に行きましたけれども、やっぱり暗いですから、そこら辺ところを是非改善していただきたいというふうに思いますので、よろしくお願いいたします。

以上です。

○横田ゆう委員長 ほかに質疑。

○ぬかが和子委員 私は、このわくわくにここ図書館の森の関係で質問したいと思います。

前回も言ったように、もともと子どもと本が出会う場所が欲しいという声の下でこれが誕生したけれども、非常に使い勝手が悪く、大人が単独では入れない、いろいろな課題があって、スタートのときに私たち内覧会で見たときに、いい施設になったと思ったわけですよ。隣接する隣の、今で

言うところの広場、ごろごろスペースも含めて、本当に子どもたちが過ごせるような場所になったというふうにすごく喜んでたのですけれども、結局、大人が入れないから、私たちもその後どうなったかは見に行くことは単独ではできないのですよ。誰か子どもがいないと。そういう声がいろいろあったと思うのですけれども、スタートから今変わった点、何が変わったのか改善したのか、改めて伺います。

○中央図書館長 変わった点につきましては、まず最初は保護者の方だけで入室というか、お子さんと一緒になければ駄目だったところを、本の貸出しとか返却、そういう形であれば可能としたということが1点ございます。

もう1点は、保育士さんですかね、園児などを連れて団体で御見学いただくことも可能になったのですけれども、その際も貸出しカードをお持ちであれば、保育士の方ですか、先生の方が来て返却貸出しであればすることが可能というふうにさせていただきました。

○ぬかが和子委員 そういう改善はしたのだけれども、なかなか課題が多いなというふうに思っているのですよ。

それで、今事前に聞いたところ、あそこの運営については、図書館の森の運営については一部業務委託ということで、TRCの方をお願いして運営をしていただいているということだったと思うのですけれども、年間の委託費用というのはどのぐらいになってますでしょうか。

○中央図書館長 学校図書館の運営の委託ですと、およそ1,500万円程度となっております。

○ぬかが和子委員 そうしますと、このイベント等はその委託費の中に含まれているということでしょうか。

○中央図書館長 ぬかが委員おっしゃるとおり、イベントの費用も含めて、その金額となっております。

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

○ぬかが和子委員 年間1, 500万円掛けて、区の方でも一生懸命、人来てもらうように頑張ってるのは分かるのだけれども、非常に私は不毛だなと思う部分があるわけです。結局、長期計画の中で、綾瀬小学校建て替える前に、きちんと併設でいきたいと思います。地域に還元できる学校図書館にしようということで制度設計をしていれば、今みたいに、この大人だけでは駄目ですとか、開館日が限られているとか、そういう懸念なしにできるわけですよ。

実際に、周辺区の学校図書館でも、地域開放型の学校図書館は何か所もあって、そこでは、ちゃんと造りから安全性担保できて、分離型でできているから、地域の方々が誰でもが利用できる。そういう制度設計してない中で造って、今年間1, 500万円ずつ掛けて一生懸命、人来てもらうようにするというふうになっているのですけれども、図書館の結局子どもたちが、学校の子どもがいなくて、いざ開館をしないということになってるわけですから、そうしますと、短いときは1か月に少ないときは何日ぐらいの開所になるのでしょうか。

○中央図書館長 長期休みがない月ですと、大体7日から8日、土日の回数ですね、程度となっております。

○ぬかが和子委員 これ私も開設日のやつを入手したのですけれども。8月とかはお盆の時期、毎日開けるとか、そういうことがありますけれども、令和8年1月の図書の森開設日は4日ですよ、僅か。4日しかないのですよ。月に4日しか開けないで、もう人がたくさん来てもらう策を、これやります、あれやりますというのは、非常に苦労されてるし、悩ましいなと。

結局、根本問題が解決できないのであれば、やっぱりそれに代わる策というのは必要になるだろうというふうに思ってるのが1点と、それからこれは是非副区長に答弁をお願いしたいのですけれど

ども。やはりこういったことは、最初から制度設計していれば、もっと使い勝手のいい、地域の子どもたちが図書に親しめる場がほかの区を見たくてできたわけですよ。だからそういうボタンの掛け違いは幾つもあると思うのです。

やっぱり、この公共施設の総合管理計画を本当に長期の視点に立って、そういう施設の有効活用ということで、しっかりこれを教訓化して取り組んでいくべきだというふうに思ってるのですが、どうでしょうか。

○勝田副区長 今公共制度の総合管理計画の中で、施設の集約するときには、周りのエリア、面的にその地域で更新が必要なものと求められる機能がどういうものか、きちんと把握した上で、既存の機能を残しながらやるのか、それとも入れ替わりとか、その時代時代に合った、求められる機能をきちんと整理した上で整備をするような形で考えていく必要があるというふうに認識しております。

○ぬかが和子委員 そうなのですよ。この綾瀬だっけそうしていれば、こんな1, 500万円かけてるのに、月によっては月に4日しか開けないなんていう、そういう施設の運営のために躍起になるという、そういう矛盾した在り方というのを取らないで済んでいただろうというふうに思うので、是非そこはしっかり教訓化していただきたいし、そして、陳情でもありますように、旧こども家庭支援センターの活用については、今事業者に提案をしていただいて、秋から冬に掛けて私たちの方にも御報告いただけるということですが、本当にそういう誰もが立ち寄れて、本と触れ合える場所というのをしっかり整備していただきたいと思ってるのですが、その辺はどうでしょうか。

○資産管理課長 ぬかが委員おっしゃるとおり、予定どおりにいけば11月には事業者が決まりますので、その後は地域の意見や庁内の意見を聞きな

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

がら、しっかり地元の方々に利用していただけるような施設にしていきたいと考えております。

○横田ゆう委員長 ほかに質疑。

○へんみ圭二委員 まず、この西口のイメージアッププロジェクトの概要というところの現状課題のアが暗い、飲み屋などのマイナスイメージがあるということなのですが、高架下のお店は安くておいしくて、非常にいいお店がたくさんありまして、飲み屋がマイナスイメージというのは、ちょっと何かこう、どうなのだろうなというふうに思うのですが、区として飲み屋があるのがマイナスだというふうに捉えられてるということですか。

○まちづくり課長 区として捉えているということではなくて、いろいろこれまでインタビューというイベントをさせていただいたりした中でいただいた御意見として、確かにあの雰囲気いいよねという方もいらっしゃいますし、あそこが飲み屋だからちょっと行きたくないのだという方も両方いらっしゃったということでございます。

○へんみ圭二委員 だとすると、あまり飲み屋さんがマイナスイメージだというふうに区として言わないでいただくと、よく使ってる立場としてはありがたいかなというふうに思います。

その中で、この西口のプロジェクトの別紙のところに、今後どういうふうにやっていきますというのが写真も付けられています。6ページのところですかね。3番、自転車止めの柵、もうこれも色を塗りますということになっています。以前からこの柵の撤去はできないですかというお話もしている中で、やはり自転車が通るのを危惧して撤去はできないということでしたから、それだったらせめて汚い状態なのをきれいにできないですかという話をさせていただいてましたから、塗りますということで決まってるのは大変ありがたいのですが、ただここも三重ぐらいに柵がなっていて、自転車が通れないというだけではなくて、やはりつえつた高齢の方ですとか、車椅子の方なんか

は本当に通りにくい状況ですから、せめて自転車止めるにしても、あの複雑な状態の策というのは、形状何とかできないのかなということも思うのですが、そのあたりは鉄道事業者の方との話し合いはどうなってますか。

○まちづくり課長 私どももへんみ委員おっしゃるとおり、もう少し通りやすいものにできないかというところを含めて、事業者と協議してきたところでございます。

ただ、今の段階で手が付けられないということでございましたので、そこでまず色を塗ってこういうようなところで、お互いそれは了解を今、ほぼほぼいただけてきてるところありますので、そこから始めさせていただいて、また今後の展開については引き続き、協議をさせていただきたいと考えてございます。

○へんみ圭二委員 分かりました。

とはいえ、この3番の写真見ても、自転車を止めるための柵だと言いながら、この写真でも、この後ろに自転車がもう通ってるのですよね。自転車もあそこは通ろうと思えば、やっぱり脇から入って通れる形ですから、であれば、これある必要性が、この写真見てもどうなのだろうなということを感じますし、色塗ってきれいにしていただくというのは、まずそれは第一歩でいいのですけれども、是非この通行しやすい環境づくりというのは、引き続き事業者の方と粘り強くやっていただきたいと思うのですが、いかがでしょう。

○まちづくり課長 へんみ委員おっしゃるとおり、今までずっとこの状態が続いてはありました。その中で明るくするところをまず取っかかりとして、ウォークラリーとか、謎解きイベントとかも、これまで区がやってきてという形になってましたけれども、JRさんですとか東京メトロさんですとか、そういったところも一緒に巻き込みながらというか、やりながら空間については引き続き検討していきたいと考えてございます。

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

○へんみ圭二委員 よろしくお願ひします。

先ほど佐々木委員からも話がありましたけれども、バスロータリーのところから西口の高架下に入る、ここがそうなのですけれども、串かつ屋さんとかがあるところ。あの辺りも、何ていうのですかね、ウォールアートができるような壁面があるのですけれども、そこも一緒にやっていただくと、バスロータリーから西口の高架下に入るあの辺りの雰囲気というのがまた明るくなるのかなというふうにも思うのですが、その点についてはいかがですか。

○まちづくり課長 いろいろ候補とする場所というのは確かにあるのだと思います。ただ、これから一遍にということではなくて、少しずつやっていくということの中で、JRさんとメトロさんとも相談をしてきた中で、今、6ページにありますけれども、点線で囲ったところをまずターゲットとして、そこからまたどうしていくのかというところも引き続き検討はしていきたいと考えてございます。

○へんみ圭二委員 分かりました。

あとこれも以前お話ししたことあるのですが、西口のロータリーのところの喫煙所のあるエリアです。トイレと喫煙所があるのですけれども、やっぱあそこは喫煙所も小っちゃくて外にはみ出てる方もまだまだたくさんいますし、そもそもこの道路の部分もちょうと、例えば道路として車が通るということはほとんどここないですから、もう少しまちづくりの中で道路を使ったまちづくりの仕方というのは考えられないですかというお話もさせていただいたのですけれども、そのあたりについては現状いかがですか。

○まちづくり課長 確かに喫煙所のところが道路1本挟んであるような形になってますので、その在り方というのは検討というか、今後のまちづくりの展開の中で1つの課題だとは思っています。そこからはみ出て吸ってらっしゃる方ですとか、い

うことも見受けられたりするときもありますので、やはり綾瀬のまちづくりの中でも1つの検討課題として、関係部署含めて検討はしていきたいと思っています。

○へんみ圭二委員 せっかく西口のイメージアッププロジェクトということで進んできてるということですから、是非この部分ももう少し積極的に地域の方とも話を進めていただきたいなというふうに思います。

それから、わくわくにここ図書館の森も、去年に比べて人も多くなってきて、順調にきてるのかなというふうに思うのですが、今回の千住の報告の中でも地域に何が必要ですかという意見を取ったときに、本と触れ合える場所というのが75件、一番多くなってます。ですから、この本と触れ合える場所が欲しいというのは、綾瀬だけではなくて、足立区全体的なそういう要望が強いのかなというふうにも思うと、やはり先ほどぬかが委員もおっしゃっていたように、大人が1人で入れないというわくわくにここ図書館の森だけではなくて、これから造ることも家庭支援センターの跡地での本と触れ合える場所というのがありましたから、そこをよりよいもの、ほかの地域にはないような施設に是非していただきたいなというふうに思うのですが、今公募をして、その後というのは、そのあたりについての検討状況というのはどうなってるのでしょうか。

○資産管理課長 まず公募前に、本と触れ合える場所とあとホールに関連するところについては、へんみ委員御存じのとおり地元の方々の意見を聞いて、それを公募条件に盛り込んだという経緯がございます。事業者が決まった後にも、また改めて地元の方に御意見賜りながら運営とか、そういったところについてはまた検討していきたいと考えている、そういう状況でございます。

○しづや竜一委員 過去にこれ聞いたことがあるかも知れないのですけれども、この陳情の理由の

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

書類の中で、ちょっと気になったのですが、この3番で固定式の書架ではなく、絵本はブックトラックに並べてありますと、キャスターロックできるものがありますが、いずれにせよ地震発生時には乳幼児にとって大変危険な環境になっておりますという記載があるのですが、今の現状、例えば先日のあの時間帯の地震では、多分、もちろん利用してる人はいないと思うのですが、ただ、この間みたいな大きな地震があったときに、やっぱり今のこのわくわくの図書だけではないかもしれないのですが、図書館の中の本の現状は、どうなってるのかなというのをお聞きしたいなと思ったのですが、先日のところでも、地震でも何かこう本とかの異常があったとか、あればそういうことも含めてちょっと教えていただきたいと思います。

○中央図書館長 まず図書館の本棚ですが、先日の地震でも大きな書架があって本が入っていますので、書架が倒れたりすることはございません。ただ、何冊か本が1冊、2冊落ちてたという状況は確認できました。

わくわくにこにこ図書の森につきましては、ブックトラックで、ふだんの書架よりもちょっと小さいもので運営しているのですが、そちらは倒れたりしないように、対策をしながら運営をしているような状況でございます。

○しぶや竜一委員委員 分かりました。これすごい安全に関わることで、子どもたち学校の中での図書室もそうなのかもしれないのですが、いずれにせよ区としても、何かこう今後、対策というか、様々やっぱ安全面のところの維持するところでは考えていかなければいけないのかなと思うので、引き続きそこは検討していただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

○横田ゆう委員長 ほかに質疑ありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○横田ゆう委員長 質疑なしと認めます。

各会派の意見をお願いします。

○かねだ正委員 継続をお願いします。

○くぼた美幸委員 継続をお願いします。

○ぬかが和子委員 継続をお願いします。

○へんみ圭二委員 継続をお願いします。

○佐藤あい委員 継続をお願いします。

○横田ゆう委員長 本件は、継続審査とすることに御異議ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○横田ゆう委員長 御異議ないと認め、継続審査と決定いたしました。

以下の審査に直接担当でない執行機関の退席を求めます。

〔執行機関一部退席〕

○横田ゆう委員長 次に、報告事項に移ります。

②から⑤まで、以上4件を都市建設部長から、

⑥、以上1件を千住地区まちづくり担当部長から報告をお願いします。

○都市建設部長 引き続きよろしくお願いいたします。

報告資料7ページでございます。

綾瀬・北綾瀬エリアデザインの北綾瀬ゾーンの取組状況でございます。

今回の御報告は、しょうぶ沼公園活用によるまちのにぎわいづくりについてでございます。

(1) 試行調査としまして、再来月10月の9日から11月の1日まで、ピクニック・ラボ in しょうぶ沼公園を実施する予定でございます。

あわせて(2)としましては、昨年の12月、また今年の6月に実施した2回の試行調査における事業者ヒアリング結果を報告させていただいているものでございます。

なお(3)としまして、今後の展開として江戸

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

川区にヒアリング調査を行いました。実施日、ヒアリング対象については記載のとおりでございます。

8番の主な意見等について、今後、有意義な御意見をいただけたと考えております。

(4)の今後の予定でございますが、今年度は試行調査の取りまとめ、課題抽出と令和9年度の10月を目途に、キッチンカー運用制度の制定と11月頃から暫定運用を開始、令和10年度から本格運用開始を予定してございます。

9ページにつきましては、先ほど申し上げました10月9日行いますチラシでございます。

続いて、10ページです。

江北エリアデザインの取組状況でございます。

上沼田東公園及び高野スポーツパークにおける一括指定管理の事業者ヒアリングの結果でございます。

(1)としまして、事業概要については記載のとおりでございます。その中でウの主なヒアリング結果としまして、今回7者から御意見いただきまして、問いの1から問いの6まで御意見をいただいたところでございます。

11ページの今後の進め方でございますが、令和10年度の事業者による一括指定管理開始を目標に、条例改正を視野に入れて検討を進めてまいります。

続いて、12ページでございます。

西新井・梅島エリアデザインの取組状況でございます。

初めに、1番、西新井駅西口のまちづくりについてでございますが、初めにアンケートの結果、目的、回答数については記載のとおりでございます。別添資料としましてアンケート結果をまとめさせていただいているので、後ほど御覧いただければと思います。

また(2)としまして、西新井駅西口地区のまちづくりニュースを発行させていただきました。

13ページ移ります。項番の2でございます。

西新井公園の事業認可でございますが、本年8月6日に、事業期間は令和19年3月31日まで事業認可をいただいたところでございます。

(5)の経過、今後の予定でございますが、令和8年度は12月以降に用地補償に関する個別説明会を予定してございます。

続いて14ページ、竹ノ塚エリアデザイン取組でございます。

初めに、竹ノ塚駅東口における市街地開発事業等についてのまちづくり説明会の開催結果でございますが、(1)のアとしてレクチャー方式を6月20日、イの対話方式については6月25日から5日間実施させていただきました。

15ページの(2)の説明内容でございますが、アからウで説明をさせていただきまして、(3)の主な意見としましてはアの再開発事業以下5つの項目について多様な意見をいただいたところでございます。

16ページでございます。項番の2でございます。

竹ノ塚駅周辺地区のまちづくりに伴う都市計画の変更でございます。来月9月の11日、12日の2日間、説明会を予定してございます。以下、都市計画の変更の内容でございますが、(2)としまして地区計画の変更、(3)としまして都市計画道路の変更、(4)としまして市街地再開発事業の決定でございます。(5)のこれまでの経緯、今後の予定でございますが、令和9年3月の都市計画決定及び告示に向けて手続を進めてまいります。

18ページでございます。

項番の3、竹ノ塚駅東口の将来を見据えた道路上でのイベントの開催でございますが、中段の(2)にありますとおり令和8年の10月上旬に予定し、この実施結果を基にして将来整備する駅前広場等の造り方や使い方の検討材料にしてまいります。

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

私からは以上でございます。

○千住地区まちづくり担当部長 よろしくお願ひいたします。

私からは千住エリアデザインの取組状況について御報告をさせていただきます。

20ページを御覧ください。

所管部課名は記載のとおりでございます。

項番の1は、千住エリアデザイン計画策定に向けた意見聴取についてでございます。

(1)は、意見交換会のメンバー募集についてでございますが、エリアデザイン計画策定に向けた会議体を組織するために、公募メンバーを8月の3日から31日の間で2名程度募集をしているところでございます。

25ページが募集チラシとなっております。

この会議体によります意見交換会を2回開催いたしまして、千住に関わる方からの意見聴取をしていきたいというふうに考えてございます。

(2)はオープンハウス型説明会による意見聴取でございます。

21ページを御覧ください。

会議体による意見交換会に先んじまして、10月の10日から28日の間に6日間、5か所でオープンハウス型説明会を開催いたしまして、まずは地域の方々からの意見聴取を行ってまいります。

(3)は今後の予定ですが、(1)、(2)の意見聴取とはまた別に、町会・自治会、商店街、まちづくり推進委員会、千住で活動している方、千住を訪れた方など、様々な人と意見交換を行いまして、地域の声を拾い集めていきたいと考えているところでございます。

項番の2は、千住大川端地区のまちづくりについてでございます。

(1)は、開発における道路整備に関する負担協定についてでございますが、さきの第2回定例会で議決いただきました土壌汚染対策等工事に関する協定を7月の29日に締結をいたしました。

この協定によりまして、牛田堀の土壌汚染等対策工事を開発事業者と共に進めていくというところでございます。

22ページを御覧ください。

項番の3は、京成関屋・牛田駅周辺のまちづくりについてでございます。

6月に行いましたオープンハウス型意見交流会の結果報告となります。

(1)は実施概要でございますが、227名の御参加をいただきました。参加者の年代、居住地域はグラフで記載のとおりでございます。

(2)は意見等ですけれども、意見としては986件、大きくは駅周辺に欲しい機能ですとか交通課題、地域の魅力、課題に関する御意見が多かったというところでございます。これらの御意見を基にアンケートを行いまして、地域住民の意向を確認しながら、駅周辺のまちづくりの方向性を検討してまいります。

24ページを御覧ください。

項番の4は、北千住駅東口再開発（北街区）についてでございます。

準備組合より、都市計画決定に伴うスケジュールの精査によりまして、おおむね半年程度遅れるという報告がございました。新たなスケジュールは表に記載のとおりとなっております。

説明は以上でございます。よろしくお願ひいたします。

○横田ゆう委員長 それでは質疑に入ります。

何か質疑はありませんか。

○かねだ正委員 私からは、まず江北のエリアデザインの取組状況について伺いたいのですけれども。

今回、上沼田東公園と高野スポーツパーク、また創出用地も含めてですけれども、一括発注についてのヒアリングを行ったということなのですが、ここにも書いてあるとおり、目的となる拠点づくりをしていきたいということも含めて、集客性の高い柔軟な企画や運営が可能な一括管理というこ

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

となのですけれども、そもそもの話にちょっと戻ってしまうのですけれども、これ一括管理をすることによって、本当に、例えばですけれども、ここで言っているのは上沼田東公園と高野スポーツパークなののですけれども、スポーツつながりということになると思うのですけれども、それによって大きな効果がやっぱり出てくるというふうに区の方は考えられているのでしょうか。

○エリアデザイン計画担当課長 今御質問いただいたとおり、当区としては、やはり2つを1つに管理することで、少なからずメリットがあると考えておりまして、今回ヒアリングの方を行っております。

○かねだ正委員 その大きなメリットというのは、1つの指定管理者さんにお話をすることによって、窓口ももちろん1つなので、区としては話がしやすいと思うのですけれども、仮にスポーツパークと上沼田東公園で別々だとしても、2業者さんにお話をして協力してもらってやっていくということだと、そんなに効果が違うのかなと、非常に疑問を感じるとこののですけれども、それについてはいかがですか。

○エリアデザイン計画担当課長 2業者それぞれ別で管理をした場合、今回そこら辺も少し確認してのですが、やはりその施設間の連携ですとかすり合わせ、あと責任とかですね、ちょっといろいろとすり合わせが必要だということは伺っておりますので、1つの指定管理の方がメリットがあるかと考えております。

○かねだ正委員 その辺については2業者さん、連携しながら打合せ等々をしていただければ十分解決できる部分なのかなというふうに、どうしても1事業者でなきゃいけないのかなというところについては、もっと、こうだから1業者というような分かりやすい御説明があれば、すごく納得できるのですけれども、その辺についてもう一度ちょっとお聞かせしてもらえませんか。

○エリアデザイン計画担当課長 今回やはりその2つを1つにすることで、まずどんなメリットがあるか、どんな区民への還元ですとか、効果があるかということを確認しております。その中では、例えば費用面ですとかも、少し維持管理もまとめてできるコストを抑えられるですとか、そういったところも伺っておりますので、そこも含めて効果があるのではないかと考えております。

○かねだ正委員 日頃の指定管理については、1業者さんであれば、スケールメリットということで、コストはもちろん指定管理費としては抑えられるのかもしれないのですけれども、細かな例えば部分においてはそんなに変わらないのかな、2業者も変わらないのかな、個人的な意見としてですけれどもちょっと思ってる部分があります。

そういった中で、今回幾つかヒアリング聞いていると思うのですけれども、これ7業者にヒアリングしたということで、この上沼田と高野スポーツパークの一括指定が可能が5者、不可能が2者というふうに出てくるのですけれども、この2者の方は何で不可能だというふうなお答えだったのですか。これは問いの6のところの部分の指定管理に当たっての課題、若しくは懸念事項のところで話しになってるようなことなのですか。

○エリアデザイン計画担当課長 今回7者に聞いて2者不可能ということでお伺いしております。理由ですが、まず内容的にはできなくはないのだけれども、少し今会社的に、職員の不足してるという方が1者、それと、あと公園管理が実績がない業者様がいらっしやいまして、単独だとちょっと難しいという御回答いただいているという状況です。

○かねだ正委員 それは、会社個人さんとしてそういうふうに思ってるということで、この2つの施設を一括指定するのに、こういう問題があるよと、全体的なことでお話しになってるわけではないということですね。

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

○エリアデザイン計画担当課長 全体的なところでお話をさせていただいて、可能性はあるということですが、会社的にちょっと今現状難しいということで、こちらに不可能と記載させていただいております。

○かねだ正委員 分かりました。

それと問2のところで、これ多分事業者さんがお答えになったのかもしれないのですけれども、修繕、メンテナンス等の一括発注によるコスト抑制とあるのですけれども、これは、例えば指定管理者さんと修繕とかメンテナンスというのはまた別になりますよね、きっと。指定管理者さんにメンテナンスとか修繕を発注するということではないと思うのですよね。メンテナンス全く別の事業だから。その辺についてはこれどうなのですか、御意見として。

○エリアデザイン計画担当課長 かねだ委員おっしゃるとおり、指定管理者からまた別発注というか、下請業者に管理等しているケースが多いかと思えます。

○都市建設部長 今のかねだ委員の御質問は、大規模修繕等は行政が行うものなので、そこについてのスケールメリットはないのではないのですかとこの御質問でよろしいでしょうか。考え方が2つあったもので、申し訳ございません。

○かねだ正委員 いや、結局、修繕とかメンテナンスということになった場合に、例えばですけれども、指定管理者さんにお出ししなくても、区が主体となって、両方の施設の工事等々を行うということは協力いただきながらですよ。可能ではないですか、十分。そういう考え方もできるということで、それはどうなのですか。

○都市建設部長 大変失礼いたしました。

通常の指定管理の協定の内容にもよるのですけれども、小規模な修繕については指定管理者が行って、大規模なものは行政が行う、要は施設の所有者の方が行う。逆にこのメリットとしては、指

定管理の方が小破修繕するということは、実質職員の手が掛からないことと、あと民間のノウハウ等を活用して安価な方法でできる可能性もあるので、その部分については、指定管理に行うということ自体は決して悪い話ではないかなというふうに考えております。

○かねだ正委員 今回こういうヒアリングを受けて、また区の考えもあるのでしょうか、我々にも分かりやすいような一括管理をすることによってこういうメリットがあって、こういうデメリットが、もちろんデメリットもあると思うのですよ。そういうことをはっきり提示していただいて、我々にも選択できるような形で、ちょっと、今回ヒアリング結果を受けてまとめていただきたいと思うのですけれども。

○都市建設部長 かねだ委員の御指摘、ごもっともだと思います。基本的に管理の方法を改めてお話ししますと、直営か委託か指定管理か、大きく3つになるかと、その辺のメリット、デメリットが表組みで分かるように、今後、こうだからこう決めましたのではなくて、こういうメリットがあるので、今回このように提案させていただきたいというふうに資料は作っていききたいと思います。

○かねだ正委員 高野スポーツパークと上沼田東公園ちょっと離れて隣同士とかではないので、その辺も含めて、一括管理別に反対するわけではないのです。どういったメリットがあるからこうなのだ、どういったデメリットあるからこうなのだということをはっきり分かるように説明していただかないと、一括管理の必要性というのがいまいち感じられない部分もあるので、そこはお願いします。

それと、西新井西口の事前アンケート、前回は申し上げたのですけれども、私もアンケートに御協力をさせていただいたのですが、このアンケート結果含めて西新井の西口駅前ビジョンを作成していくということなのですから、今後の進め

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

方についてもう一度改めてお伺いしたいのですけれども。

○中部地区まちづくり担当課長 策定は来年度の1月を目標としております。

今回、アンケートを取らせていただきまして、骨子の方を今三者で東武鉄道と準備組合と協議まとめておりまして、こちらの方、住民の方にアンケートを取らせていただいて、それで、更に詳しいものをつくって、また、そちらを素案として皆様に見ていただくような流れで進めていきたいと考えております。

○かねだ正委員 分かりました。ということは、このアンケート結果、区の方で、ほかの2者さんにお話をして、それを基にまた三者で考えていこうということだと思うので、そういうふうに進めていくということですね。またそこから段階的にいろいろ進めていくということですね。

今回どうですか、この全体的なアンケートの結果については、中部地区まちづくり担当課長、どういうふうな感想を持たれてます。

○中部地区まちづくり担当課長 まず500件近い御回答をいただいたということで、大変驚きとともにうれしく思っております。それで全体の中から見えてくるところとして、西新井の特徴というものが分かってきたかなと思います。最大の特徴として、やはり大師があるとかレトロな町並みというところの歴史的な文化的な部分と、あと日清紡の土地利用転換が成功して、かなり住民の方の満足度につながっているなということをこのアンケートや自由記述から感じました。そちらの2つが融合していて、更にそれが歩いて行ける距離にあるということが、西新井の魅力なのかなと思います。更に、やはり駅前を更によいものにしていって、東西の交通のしやすさですとか、そういったところを解消していくような形でビジョンを策定していくという方向に進められたらと思っております。

○かねだ正委員 アンケート結果の中で、交通の利便性が急行も止まるのでいいというようなお話で、もちろんそういう御意見もあるだろうし、あと交通の利便性がよいというのが質問の1番にあるので、選びやすいのかなというののもちょっとあるのかなという、単純にそういう部分もあるのかなと思ったのですが、アンケートの結果と考えればこれが一番多いということで、利便性のよさをやはり皆さん感じてくださってるのかなというふうには思います。

それで、私がちょっと注目したのは、ちょうど8ページになるのですが、西新井駅西口駅前がもっとこうなったらいいと感じるのは、どんなところですかということなのなのですが、これ問いのところかというと、問いの4番なのですが、もっとこうなったらいいというところで、私もこれすごい設問が全部で33問あるので、かなり設問数としては多いので、結構一つ一つ見ていかないと、ちゃんと読んでいかないと選べないので、ここを選んだ方のところはすごく思いがある部分なのかなとちょっと注目してたのですが、その結果が8ページのところで、カフェやレストランなどの飲食店の充実が1番に来ていて、その後2番、3番、4番とあるのですが、カフェやレストランなどの飲食店の充実というのは、これ率直な御意見がある一方で、やはりどこのまちでも、これカフェやレストラン、飲食店が充実するといいなというのはやはり西新井だけではなくても、いろいろな御意見として出てくる部分かなというふうにはちょっと思うのです。

その2番、3番、4番のところを見ると、どれも交通に関わることで、9ページにもちょっと書いてあるのですが、交通に関わることをやはり、交通の利便性がこんだけいいという、それは電車のこと言ってるかもしれないのですが、いいという答えの中で、だけれども、もっとこうしてほしいというのが、この交通のところなので

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

す。この辺についてはどういうふうに考えます。

○中部地区まちづくり担当課長 こちらの交通利便性がよいと問1の部分で言っている交通利便性と、こちらのこうなったらいいと言ってる交通関係の★★がちょっと違ってくるかなと思います。利便性として挙げられてるのはやはり急行止まるですとか、2路線使えるというところの住むにはというところの圧倒的な利便性というところなのですが、9ページのところ見ていただくと、選択肢のところではバスが西新井出てるのですけれども、そういったところが乗りづらいですとか、駅に行きづらいですとか、動線が交錯しているというような西新井駅自体の交通の使いにくさというところが、こちらのアンケートに表れていると考えております。

○かねだ正委員 そうなのです。こんだけの設問の中で、33問ある設問の中で、やはりこの先ほど中部地区まちづくり担当課長がお話しになったように、駅への行きにくさであったりだとか、歩行空間の整備をもっとしてほしい、いわゆる歩きにくさであったりということが、やはりこのアンケート結果の中でも非常に、これ4問、5問あるうちで選ばれたわけではないわけです。33問ある中で、ここの部分にフォーカスをされて選ばれたということは、それだけやはり、ここでアンケートを受けられた方というのは、受けた方以外にも恐らくそういうふうに思っているんじゃないかなと思います。ということは、ここは改善していかなくちゃいけないというふうに私は思っているのですけれども、それについてはどうでしょうか。

○都市建設部長 先ほど中部地区まちづくり担当課長申し上げたとおり、やはり日清紡跡地の開発については一通り終わっておりますので、やっぱりそこと駅前の対比が多分あるかと思います。それに向けて、やはり今後、引き続き区と東武鉄道、また再開発準備組合と三者連携をして、早期に整備ができるように引き続き調整はしてまいります。

○かねだ正委員 最後になりますけれども、もうこれ結論でいろいろ考えていくと、やはり、西新井西口には歩行空間とか、そういったものをきちっと確保していく必要があるんで、私はもうずっと言っているのですけれども、何とかここにペDESTリアンデッキをやっぱ造っていくということが、こういった課題を解決していく非常に重要な施策だと私は思っていますので、是非この結果も踏まえて、やはりこれから検討作業いろいろビジョンからですけれども、入っていくと思いますので、課題解決のために検討していただきたいというふうに思いますので、最後によろしく申し上げます。

○都市建設部長 西新井西口のまちづくりの、ちょっと言い方がキザかもしれませんが、最後のピースが駅前だと思っておりますので、そこについて歩行空間含めて検討してまいります。

○かねだ正委員 ありがとうございます。

○横田ゆう委員長 ほかに質疑。

○さの智恵子委員 今ちょうど西新井・梅島エリアデザインがかなり細かく出ましたが、私もちょっとここについて質問させていただきます。

まず今回西口のアンケート結果というのを発表していただいております、こちらオープンハウス型では261名ですが、ウェブ形式ということで212名の方に御回答をいただいておりますが、どのような方、地域、年代分かれば、若干説明をお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。

○中部地区まちづくり担当課長 ウェブとオープンハウス型とほぼ同数で、少しオープンハウスが多いのですけれども、こちらのまずウェブ形式で御回答いただいた方の特徴としては、20代、30代、40代の方がウェブで比較的多く御回答いただきました。あと御住所ですとかそういったところは特に大きな差はありませんでした。

○さの智恵子委員 分かりました。

若い方の回答ということで、本当にこのビジョ

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

ンに向けた意見ということで大変よかったかなというふうには思っております。

ちょっと私が気になったのが、7ページにございます様々なお声の中で、その他ですね、46件、発展しているようでしてないまち、便利そうに見えて不便、ここがとっても本当に端的に今の西新井を表してるなと思いました。7つあるエリアデザインの中で、やはり進んでるようで進んでない。交通広場1つ見ても、本当にそうだなと思っておりまして、これはどういう方がお答えしてるかわからないのですけれども、区民の方の端的な御意見かなというふうにも思っております。

そしてまたこの9ページには、先ほどかねだ委員からもございましたが、暮らし、また交通の方でも御意見がこの10位までであるということで、しっかりこの結果を受けて、区としても東武鉄道等とも話していくということでもございました。

今ちょっと私この質問の前に、都市建設部長の西新井駅前がこのエリアデザインの一丁目一番地というなお声ございましたが、私の中では梅田八丁目複合施設が、このエリアデザインの中核であるというふうに思っておりますので、ちょっとここは都市建設部長の答弁いかがかなというふうには思っておりまして、本当にこういうところでも1つの言葉が区民の方見ておりますので、もう一度お聞きをしますが、こちらの西新井・梅島エリアデザインの中核はどこでしょうか。

- 都市建設部長 もう一度お話しさせていただきますが、私も西新井西口のまちづくりを★★させたものとして、駅前のところは西口のまちづくりとしてキーワードになるのではないかと御答弁でございまして、梅島地域の、決して梅田八丁目複合施設が核ではないということは私も全然思っておりませんので、それについて改めて御答弁申し上げます。
- さの智恵子委員 すみません、ちょっときつい形で大変申し訳ございません。

実は7月に庁内審査会が行われて、今後のこの梅田八丁目複合施設の行く末が決まっていくという大事な時期でもございましたので、ここに向けては9月の議会で報告ということでございますが、結果についてはお聞きができませんが、庁内審査会は無事に終わったという認識でよろしいでしょうか。こちらは副区長の方からお答えをお願いしますでしょうか。

○工藤副区長 内容についてを確認をさせていただきましたけれども、ここについては、まだもう少し内容を深めていく必要があるというふうには考えています。

○さの智恵子委員 9月の議会で発表になるということで、本当に区民の皆様も待っておりますので、そこは是非お願いをしたいと思います。

先日、このデイリーヤマザキの跡地に東横インが建設予定ということで、私もSNS等で発信したところ、ちょっとどこまで見てくださったかわからないのですけれども、やはりホテルがなかったということでは、大変区民の方、地域の方からもよかったというお声は頂戴しております。そういう意味では、やはり、ちょっと遅れているかなというイメージもございましてこの西新井梅島エリアデザインにつきましては、今後、魅力あるまちづくりを是非お願いしたいと思います、すみません、最後にいかがでしょうか。

○都市建設部長 エリアデザインの室長も兼務しておりますので、引き続き西新井については東西まちづくりを確実に進めてまいります。

○ぬかが和子委員 今、西新井の話が続いたので、私も西新井の質問から入りたいと思うのですけれども、今さの委員の方からあった話、私も本当にそのとおりだなと思うことがあって、もともとエリアデザインは、公有地をどう活用するかということを中心にしながらやるのがエリアデザインということだと思いますと、どう考えてもあそこの中心は梅田八丁目だろうと、公有地ですからね、と

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

いうふうに思っているのです。

先ほど庁内審査会の話ありましたが、区民委員会の中での質疑では、中止をする、やめることも当然あり得るということを部長が答弁してのですね。でもそんなことは、本当にこれまでの経過から見たら絶対にあり得ないというふうに私は思っているのです。この委員会では、本当に多くの議員、ほとんどの全ての議員がそう思っているのではないかと、いうふうに思っていますし。その辺のところどうなのでしょう。

○工藤副区長 庁内審査会でもいろいろ議論をさせていただきました。

それで前の委託の内容については、ちょっと委託で取れる事業者がないということで、今回改めて内容見直しをして、もっとシンプルな形でやるのですが、出てきた意見の中では、まずコストの話が1つあります。それと、非常に施工性が難しいので、実際に本当に受けていただけるゼネコンがいるのかというようなこともありましたので、そのコストの関係、それから施工上の課題についてということをしる範囲を絞って、今回新しく委託を出させていただくということになってます。

ただ、区民の皆さんは、やはり図書館とか居場所をどうしても欲しいというのが、本来の区民の御要望ですから、実現何とかできるものはさせていきたいなというふうに。ただ、今のものをそのままするのか、少し変更してやるのかということについては、また議論させていただきたいと思います。

○ぬかが和子委員 もうやめることあり得るような、そういうような答弁だったということをうちの幹事長から報告もらったので、それはほとんどないなというふうに思っていました。

それから、先ほどペデストリアンデッキの話がありましたけれども、前回の委員会の中で、私は北綾瀬駅のペデストリアンデッキの問題について、しっかり検証すべきだということを言って、それ

区の方は否定しなかったのですけれども、どうなったのでしょうか。

○道路整備課長 先日きちんとお答えできなくて申し訳ございませんでした。

北綾瀬駅のペデストリアンデッキの整備につきましては、都市再生整備計画で補助金を充当しているということもございまして、来年度、事後評価を実施する予定となっております。その中でこれまでの投入したコストの検証ですとか、そういったものを行っていきたいと考えております。

○ぬかが和子委員 6億5,000万円追加して造ったペデストリアンデッキ、私、実は今年に入って何回も行く機会、昨日も行ってきたのですけれども、行く機会があるのですけれども、日曜日の一番人が多そうなときでも、下には人がいっぱい通ってるけれども、上のペデストリアンデッキはほとんど人は通ってないわけですよ。それはそのはずですよ、だって環七渡って通れるのは、北綾瀬の千代田線の切符を持ってる人しか環七渡れないのですから、そういう造りでできたところに、それで当初の区の計画どおりエスカレーターで降りて商業施設へいろいろなとこに行ければいいのに、そこに造ったペデストリアンデッキということで、本当に区がこの財源を投下してやるのにふさわしいものなのか、大体あのときにいろいろと区は、今の都市建設部長の真鍋さんも含めていろいろ答弁を、玉虫色のような答弁を繰り返してたわけですよ。必然性があるということを書いて、あれが必然性があるのであれば、先ほど話があった西新井だって、もっと言うと北千住で今大変なところ、ではどうするのか、そういう話になっていくわけですよ。

だから、北綾瀬の駅のペデストリアンデッキについて税を投入してるわけですから、巨額のね、しっかり検証する必要があるだろうというふうに思っていて、そこはしっかりやるということですよ。よろしいですか。

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

○道路整備課長 投入したコストに対しても、効果があったのかというのはきちんと検証するべきですし、そうしていきたいと思っております。

○ぬかが和子委員 本当に日曜日何回か行ってるのですけれども、人がいたためしがないと。北綾瀬の駅からエスカレーターで降りる人はいるのだけれども、ペDESTリアンデッキを通る人があんまりというか、ほとんどいないというような状況というのは、本当にひどいなというふうに思います。しっかり検証した上で、次をどうしていくのかと、本当に駅まちづくりは大事だと思うので、西新井の歩行空間の確保という点でも、確かにそれはあるのですよ。だから、そういうことをしっかり検証してやっていっていただきたいと思います。

それから、私からは今日千住の京成関屋・牛田駅周辺まちづくり意見交流会の資料が報告資料として出されておまして、この資料拝見して、本当にもっともだと思うことがたくさんありました。とりわけ駅周辺の交通課題に関する意見ということで、これは本当に切実だなと思うのですよ。千住大川端で、結局4つのタワーマンションが誕生して、2,000戸のタワマンの戸数が増えて、6,000人が増えると言われている中で、ここを出ている駅へのアクセス、踏切がなかなか開かないので歩道橋かアンダーパスが欲しい、牛田駅の反対側にも改札が欲しい、駅の一体化、それから歩行者環境の改善、駅前空間の確保、こういう声が出るのは当然だと思いますし、これ別添資料の7ページですけれども。

それから、別添資料の8ページの駅施設の安全性ということで、牛田駅と京成関屋駅にホームドアが欲しいと。こういったことは本当に大切だと思ってるのですが、しっかりと、ここはエリアデザインの委員会でそれぞれの所管がまたがってきてるわけですが、都市建設とか関連部局とか、また区長、副区長も一緒になって、この駅環境の改善というのをやっていくべきではないか

と思うのですが、どうでしょうか。

○千住地区まちづくり担当部長 ぬかが委員おっしゃるとおり、様々な問題、課題を感じている方いらっしゃいますので、そこら辺の方々の御意見、今回駅前のヒアリングだったので、偏ってる可能性もあるかなと思っておりまして、今度正式にその対象のエリアにアンケートを掛ようと思っています。そのアンケートでも同様の意見は出てくるとは思いますけれども、そこら辺、既に出てきているので、課題としては捉えていて、どういうふうに解決できるのか、これ足立区だけでは解決できませんので、今東京都、京成電鉄、東武鉄道とも勉強会を持っておりますので、そこら辺でも問いかけながら、1つずつ解消していけるように取り組んでいきたいと考えてございます。

○ぬかが和子委員 2年ほど前ですかね、議会でもいろいろ要望が出ていて、駅の改善というのも乗降客が駅舎の改善ですかね、そういう議論になったときに、区から来たその京成さんの回答というのが、乗降客はそんなに増えないのだと。平均で1時間に6人ぐらいしか増えないかのような答弁をしていたという話をうちの議員から聞いたのですけれども、その辺はどうなってるのでしょうか。

○千住地区まちづくり担当部長 京成電鉄、東武鉄道にそれぞれ人口増に対する考えを聞きましたけれども、ぬかが委員おっしゃっていただいたとおり、1車両に6人増えるので、十分飲み込めるといような回答ではございましたけれども、理論的にはそうなのかもしれませんが、実際、どのような集中が発生するのか、課題が発生するのかというのは、蓋を開けてみないと分からないところもありますので、これは順次、建物建っていきますけれども、その都度状況を見ながら、今事業者と協定結んでおりますけれども、建物が建ったら終わりではなくて、その後の環境についてもやはり取り組んでいただくために、数年間、協定の中でお付き合いをいただくことになっておりま

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

すので、その中で解決すべき課題については共有をして取り組んでいきたいと考えてございます。

○ぬかが和子委員 その1車両に6人しか増えないという計算式前提が、聞くとところによると、この始発から終電まで全部ならして割り算して、1車両で6人しか増えないと、ラッシュ時に1車両に6人しか増えないというふうに、そういう想定でないという話を聞いたのですよ。

だとすると、これとんでもない話で、そんなこと言ったら日暮里・舎人ライナーだって混雑していないということになるのですよ。だって始発から終電まで平均で割れば、そんなに大勢でないわけですよ。やっぱそういう想定をしてるのだとしたら、それは審議も確かめて、強く意見を言っていただきたいというふうに思うのですけれども、どうですか。

○千住地区まちづくり担当部長 どのような計算をしたのかというのは確認はしたつもりだったのですけれども、失念をしましてしておりますので、そこら辺も確認しながら、もしぬかが委員がおっしゃるようなことであれば、どんな電車でも飲み込めるということになってしまうと思いますので、そこら辺はラッシュ時ですとか、朝夕違うと思いますので、そこら辺も少し確認をしながら取り組んでいければと考えてございます。

○ぬかが和子委員 是非そこしっかり、よろしくお願いしたいと思います。

それから、今日の千住、この大川端のところでは、協定書を結んだということでの別添資料が協定書として出されているのですけれども、この千住大川端の協定を結んだ部分について、ちょっと事前にも、これ第二溶出量基準を超えている汚染物質が出ているということで、事前にも聞かせていただいたのですけれども、ここは、そもそも何なのかというのは建設委員会の中でもいろいろ議論があったところだと思うのですよ。

結局どのくらいお金を掛けてやってきているの

かというのを計算ざっくり考えると、今公社で保有している用地の部分というのを、公社で2億5,000万円ぐらい出して買っていると。それから、もともと国の方から譲り受けた土地の部分というのは、牛田堀ということで譲り受けた土地の部分、それに合わせて、足立郵便局側から区の方から購入した部分が区有地としてあるということで、この購入した区有地の部分というのも2億円ぐらいでしたか、お金掛かっていると思うのですけれども、それに、また今度この汚染対策ということでお金が掛かるということであると、その3つでどのぐらいのお金、総計幾らぐらいになるかというのをもう一度確認したいのですけれども。

○千住地区まちづくり担当部長 今回協定を結ばせていただいている牛田堀の第二溶出量基準も含めた土壤汚染改良につきましては、3億5,000万円を上限としているところでございます。今年度の工事とまた別に、昨年度、少し牛田堀の北側の部分の土壤汚染改良工事もさせていただいておりますけれども、それは協定額4,000万円に対して、おおむね2,900万円の費用が掛かっているというところでございます。

それと、日本郵便のところの土地につきましては、421平米で2億5,000万円程度ということで、そこら辺の額が掛かってきているということでございます。

○ぬかが和子委員 そうしますと、ごめんなさいね、日本郵便の方から買ったのは2億5,000万円だとすると、これ区で所有してる部分ということですよ。だとすると、それプラス公社の方が今所有している用地の分ありますよね。

○千住地区まちづくり担当部長 日本郵政の敷地につきましては、両方で持っているということではなく、区が国庫補助金を導入して買収するために事前に土地開発公社に購入を依頼してるということで、その購入していただいた土地開発公社が持っている土地については今年度、区の方で買い戻す

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

予定になっておりますので、2億5,000万円ですね。

○ぬかが和子委員 分かりました。もちろん公社保有ですから区有地ではない。あと今区有地の分はさっき2億5,000万円ということになりますと、いわゆる大川端のタワーマンション4本を造る、また住市総でまちをつくっていく、その道路を造るために合わせて5億円だから、9億円近くお金を掛ける、少なくとも掛けるということになるわけですよ。汚染物質の関係と用地の取得でね。

私、道路は必要なものは造っていいと思ってるのだけれども、何のために道路を造るのかということ考えたときに、その先にできるのは、4本のタワーマンションなわけですよ。今地震もあってタワーマンションというのがどうなのかというのが言われている。また今既に分譲販売しているタワーマンションというのも、住民票を移さない人も大変多いと。いわゆる住市総でできた新田とか西新井は、タワーマンションではありませんから、これはもう完全に住民票を移して、そして登記の材料でなく住んでる人が多いけれども、そうでないところのタワーマンションは、登記の材料になっていて、それで、住民票も晴海フラッグでもそうですけれども、住民票を移してこない人が多いと。そういうまちをつくるために、税を投入するということになってしまうというのは非常に残念だなというふうに思ってるのですよ。

だって、もともとの地区計画のままでいけばそういうまちではなかったですから、この千住大川端は。だけれども、地区計画変更して、それで4本のタワーマンションを事業者さんの言うとおりに造ってあげるというための、今、工事車両であり、中心的な道路を税金掛けて整備してあげるということで本当にいいのかと、そういうことについては区はどうお感じか、ちょっとお伺いしたいのですが。

○千住地区まちづくり担当部長 おとしでしたか、

地区計画を変更させていただきましたけれども、その前の都市計画については、平成6年に都市計画決定しておりますけれども、その当時から、この幹線の道路につきましては整備する予定になっておりましたので、そこからは大きくは変わっていないのかなというふうに思っております。

さきの委員会でも御答弁させていただきましたけれども、この道路につきましては、マンションを建てるものともなっておりますけれども、この先には防災船着場を整備する予定になっておりますし、その先にはスーパー堤防、公園等があって、公共施設を結ぶための大切な路線となるというふうなところで、そういう意味を含めて公共の方で整備をしていくということで考えてございます。

○ぬかが和子委員 もともとは、この道路を造ることについては、もう事前にもお伺いした平成6年だったのですが、区道認定が。最初にやったのが平成12年か。地区計画が平成6年で、そして区道認定が平成12年ということで、ちょっとその資料も急遽取り寄せて、もともとは、そのときの計画のとき、私たち賛成してるのですよ。区道認定も。だってタワマン4本造るなんて計画ではなかったのですもの。本当に住市総として、より快適な住宅を造るということで、そういうことであれば必要な道路というのも税投入としても妥当だろうというふうに思うのですね。でも、こんな先ほどほかにもこれもある、これもあるということも言いましたけれども、やっぱり費用対効果とか税投入の効果ということで、そういうところに尽くすよかのように税を投入していいのかというのは、区政の姿勢として私は問われるのではないかと。

何でこんなこと言ってるかというと、エリアデザインは7つエリアがあって、率直に言うと7つを同時に進めるということはとても大変なことで、やっぱりどこに力を入れるのかということは考えていかなきゃいけないし、そう考えたときに、こ

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

こでも話がある六町駅の駅前どうするの、かつて吉岡議員が質問されたような、もうどうせ高島屋駄目になったのだったら、もっと別の全く違ったものにしたらいいのではないかと、そういうところから区が持つてる土地★★ところから重点としてやっていく。また梅田八丁目とか本当に公有地をどうするののかというところを中心にエリアデザインというのを考えていかないと、本当にそういうタワーマンションのためにみたいな、そのためではないと区は言ってるのは知ってますけれども、そういうことでは、やっぱり区民の理解は得られないのではないかとこのことを指摘して、質疑を終わりたいと思います。

○佐々木まさひこ委員 それでは、私の方からは北綾瀬ゾーンの取組について、ちょっとお伺いをしたいというふうに思います。

今回で第3回の試行調査をやって、来年2月頃に試行調査の取りまとめ、それで課題を抽出して、来年の★★の10月頃にキッチンカーの運用制度を制定していくという段取りになっているようでございますけれども、来年の11月頃からは暫定運用開始でしょうぶ沼公園など限定ということで書いてありますけれども、この前のページにも過去の事業者のヒアリングで、出店を継続することでキッチンカーが出店する場所という認知を高めることが重要というふうに記載がございました。単発で事業者が出てるだけでは、やっぱり継続的なにぎわいにはつながっていかないというふうに思いますので、これは区としては継続的に出店していただくということのルールも定めていくというお考えということでよろしいのですか。

○まちづくり課長 佐々木委員おっしゃるとおり、継続して出店できるような形で進めていけたらと考えてございます。

○佐々木まさひこ委員 今回は4時ではなくて、8時頃まで実施時間を延長するということなのだと思いますけれども、しょうぶ沼公園の北側は大きいマンシ

ョンが建ってまして、騒音とかごみとか、路上の滞留とか、ちょっと近隣住民への影響も想定はされるのですけれども、そこら辺の検証というのはどういうふうにされますか。

○まちづくり課長 確かに、夜というか8時までになると、その辺のことも懸念される部分がありますので、事業者の方また確認をさせていただいて、我々も確認をさせていただいたり、どういう問題点が出てくるのかということも含めて時間延長の中を確認していきたいと思っております。

○佐々木まさひこ委員 今回のピクニック・ラボなのですが、結局にぎわいづくりということで、お客さんが増えてにぎわえば成功なのか。その先にこの事業をステップにして、こういう新たな活用方法をしていくということまで目指しているのか。

例えば、地域の子どもたちの子ども食堂的な使い方をするとか、あとはキッチンカーの団体と防災協定を結んでますけれども、そういう区政に完全に無関心な層に対して、このキッチンカーで防災の炊き出しみたいなことをしますよみたいな感じで、地域住民を巻き込んでいくとか、そういうところまで、あまり考えてなさそうですけれども。でも、せっかく単にキッチンカーが来てにぎわいましたけど、事業としては面白くないとか、付加価値を付けていくとか、そういうことを目指してほしいなというふうには思ってるのですけれども、いかがですか。

○都市建設部長 今回のしょうぶ沼公園での試行実施なのですが、やはり公有地の利活用の在り方について幅広に考えていきたいと思ってます。これは北綾瀬だけではなくて、竹の塚であったりほかの地域も横展開できるように、どういったルールが必要だということで試行実施しております。

ただ佐々木委員御発言のとおり、やはりキッチンカーというのはもしかすると災害時にも活用できる可能性もありますし、そういった横展開をも

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

う少し幅広にできるようなことは、今回の取組を通じて少し勉強させていただければと思います。

○佐々木まさひこ委員 是非今、私監査委員やってますけれども、事務事業所の評価調査で、しょうぶ沼公園に800人集まりましたとかと来年出てきたら、次、引継ぎのときにそれは指摘してもらいたいというふうに言いたいなというふうに思ってますけれども、是非そういう幅広で、庁舎横断的にこういったことは考えていってほしいなというふうに思いますので、要望しときます。

以上です。

○へんみ圭二委員 今のキッチンカーの話なのですが、私の友人もキッチンカーをやっている仲間もいますし、そうしたところに話を聞くと、キッチンカーは参入しやすいので、どんどん今数は増えてるけれども、その一方で廃業率もとても高い。なぜかという、出店する場所がなかなかいい場所が見付からないというのも大きな理由の1つだという話を聞きました。ですからこういったしょうぶ沼公園の取組というのは、そういう出店場所を探してるキッチンカーの皆さんからしたら、ありがたい話なのかなというふうに思います。

ただ、前回やってたときに事業者の方にお話聞いたら、出店料がないというのがまずありがたいという話だったのですが、今回、江戸川区の方に行った結果、車両1台につき1日当たり4,230円取っているということで、行く行くはその方向に行くのかなとは思いますが、まずはこのしょうぶ沼公園でやってるということを根づかせるためにも、無料というのは今後も継続してやっていただきたいなと思うのですが、そのあたりはいかがでしょう。

○道路公園整備室長 しょうぶ沼には、取りあえず今、★★な意味合いもあると思います。今後、横展開するに当たっては、ある程度の基準とかルールを定める必要があると思いますので、その出店料等の金額についても少しお互いがウィン・ウィ

ンになれるような形での値段設定とか、その辺は少し検討させていただきたいと思います。

○へんみ圭二委員 よろしくをお願いします。

今、佐々木委員からもお話ありましたけれども、この10月9日から11月1日までやるという中で、ただキッチンカーがあるだけではなくて、前もお話しましたが、例えば大道芸人の方が来たりだとか、何かそこに行くキッチンカー以外でも、楽しい催しがあるよという形で持っていけるといいのかなあなんていうことも思います。

特に、例えば昨日知り合いの方に言われたのは、子どもがダンススクールに通っているのだけれども、なかなか発表の場がないということでした。ですから、例えばそういった地域のダンススクールにも声掛けて、ダンスの発表なんかもここで併せてやったりだとか、いろいろな仕掛けというのが考えられるのかなと思うのですが、そういった取組については区としてはどのようなお考えですか。

○まちづくり課長 へんみ委員おっしゃるように、地域のにぎわい含めていろいろなものを展開はしていけるというところは1つあると思います。

ただ、今現時点の中で、キッチンカー自体も日常公園に単独では出せないという状況がございますので、まずはそこのところから試行して行って、その点で例えばそのほかのイベントとタイアップをするですとか、そういったところも今後その暫定運用をする中でですとか、いう形での検討の1つの材料とさせていただきたいと思います。

○へんみ圭二委員 そういうことを区が考えているよというのが分からないと、多分、そういうことをやってみようという方々も出てこないと思いますから、是非このやってる間に何かこう取組を1つでもやっていただいて、モデル的に進められるようにしていただきたいと思います。

それから西新井についてなのですが、私もいろいろな友人に足立区いいから引っ越しておいでよ

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

というシティープロモーションしてまして、先日、西新井栄町の方に友人が家を買いました。久しぶりに綾瀬の方から西新井の友人の家まで自転車で行ってみようと思って自転車で行ったのですが、西新井の駅を超えるとというのが、自転車だとなかなかこう厳しくて、何かお化けトンネルと呼ばれるような暗いところを通らないと、自転車でなかなか通れないという状況です。先日もSNS見ていたら、リール動画で流れてきたのが、お化けトンネルについて、足立区にはこんな怖いトンネルがあるのだというような動画が出てきてしまいました。

です。東武の東西の通行のしやすさというのがアンケートでも上位に入ってきていることを考えると、その改善策というのはまず将来的にはやっていただきたいのですが、お化けトンネルと言われてる暗いあの場所のイメージアップというのも、必要ではないかなということをも自分自身で先日感じましたけれども、皆さんの認識としてはいかがですか。

○都市建設部長 鉄道を挟んだ東西に行く道というのが、こども家庭支援センターげんきのところのことを……。

○へんみ圭二委員 栗原の方の。

○都市建設部長 栗原地下道のこと、この間の水没しちゃったとこ、確かにすみません、おっしゃるとおりだと思います。

今の、まず喫緊でやらなきゃいけないことがありまして、ちょっとこのエリア委員会で関係ない話なっちゃうかもしれませんが、今喫緊の課題としてはやはり、前回の雨で水害対策がまず一番でございます。ただ、へんみ委員おっしゃるとおり、どちらかというとあんまりいいイメージではないので、そこも併せて部内連携してちょっと取り組んでいきたいと思っています。

○へんみ圭二委員 本当は夕方というか、ちょっと暗くなってから通ったときに、大人でもおっかな

いなと思いましたから、きっと子どもたちは怖いでしょうし、もう少し雰囲気明るくということも併せて考えていただきたいなということ、あとは東西の自由通路も以前から話がありましたけれども、なかなかたしか東武が乗ってこないというような話だったのかなと思うのですが、改めてその東西の自由通路について現状ではどうなっているのでしょうか。

○都市建設部長 西新井駅を中心とした話になりますと、西口については先ほど来、かねだ委員会からの御質問あったとおり今後、東武等と連携してやっていくのですが、実は東口は東口で問題がございまして、ちょうど質問いただいている、例えばバリアフリーに対応していないであったりとか、エスカレーターがない。実はトスカの上にマンションがあるのですが、こちらの耐震上問題があるということで、ここの部分を東武としては解決しなきゃいけないことが東も西もございます。そういったところを機を捉えて、区としてもいいタイミングで、やはり区民要望の強い東西の自由通路について何かしらできるかについては、ちょっと時間掛かるかもしれませんが、検討材料としては考えてございます。

○へんみ圭二委員 分かりました。

先日、その西新井の方の方に言われたのは、自転車でそのまま上に上がって渡って自転車で下られるような、そういうやり方というのはできないのですかということも言われたのですが、そのあたりについては、例えば鉄道事業者の方々と話し合ってたたりというのは難しいのですか。

○都市建設部長 東武鉄道と定期的というか継続的に協議しとるのですが、やはり今東口の、今申し上げたトスカの上のサンライトマンションという、具体名を挙げて申し訳ないのですが、そちらのところが解決しないことには、今へんみ委員が御発言あった自由通路の整備であったり、エレベーター、エスカレーターの整備が物理的にできないと

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

いうことであります。ですので、その部分が解決しつつ、同時に区としてもまちづくりの観点から、東武と継続して協議が必要だと考えております。

○へんみ圭二委員　すぐには難しいと思いますから、粘り強く交渉を続けていただきたいと思います。

それから千住についてなのですが、先ほどぬかが委員からもタワマンについての話がありました。綾瀬のタワマンの状況を考えると、やっぱりタワマンがただでできるだけだと、もともと住んでいる地域住民からしてみればあまりメリットが感じられない。むしろデメリットの方を感じるという状況になってしまっていますから、この綾瀬の今の状況を踏まえて、千住のタワマン、これから造っていくに当たって、その綾瀬の教訓を踏まえてどのようなことをこれから千住でやっていこうというふうに思われますか。

○千住地区まちづくり担当部長　やはり風環境を気になったので、再確認をさせていただいて、今のところはデータで言えば綾瀬もそうでしたけれども、大丈夫ということではありますけれども、1棟1棟建っていったときに、どういう風環境の変化が起きるのかということありますので、これ事業者を逃がさないように後追いをしていって、ちゃんと対策が練れるようにというふうに思っております。

あと綾瀬と少し違うのは、千住の大川端地区につきましては、再開発等促進区を定める地区計画という容積率を上乘せするような地区計画でやっております、そのために、約束事を多く決めている地区計画になっております。その約束事の中で、いろいろ御批判ありますけれども、垂直避難ですとか、あとは広域的な施設として避難場所を造ってもらだとか、そういうことが約束事として述べられておりますので、そこら辺をしっかりとくっってもらって、皆さんの憩いの場となるように整備をしていければというふうに考えてございます。

○へんみ圭二委員　今住んでる方々が、地域がタワ

マンできてよかったなと少しでも感じられるようなまちづくりを是非しっかりやっていただきたいなというふうに思うのですが、今度千住エリアデザイン計画の策定に向けて一般公募も2名程度ということですが、2名程度でいいのかなと、もう少し多くてもいいのかなと思いますし、それから例えば18歳以上となっていますけれども、これからのまちづくりに当たっては、例えば中高生なんかの意見も是非取り入れるべきではないかなと思うのですが、そのあたりについてはお考えいかがですか。

○エリアデザイン計画担当課長　公募委員の2名程度につきましては、応募状況を見ながら少し検討できればと思っております。

また、18歳以下の子ども、学生等につきましては、庁内で連携して、また別の機会を設けて意見を伺っていきたいと考えているところです。

○へんみ圭二委員　ちなみにこれ募集期間が今月いっぱいですけれども、現在はどれぐらい応募来てるのですか。

○エリアデザイン計画担当課長　現時点で定員を超えて今5名ほど応募いただいている状況です。区内外、それとあとは20代から幅広い世代でいただいているところでございます。

○へんみ圭二委員　定員は超えたのでよかったのかなと思いますけれども、ただやっぱり5名というのは寂しいかなと思いますから、もう少し周知の方も、今月いっぱいですからSNSなども使ってやられるといいのかなと思います。

あと千住大橋の駅前の区有地の活用についてなのですが、前回もいろいろと申し上げましたけれども、渋滞の問題、それから本と触れ合える場所が欲しいという地域の要望、このあたりについても12月に着工ということですが、今どのような検討状況でしょうか。

○千住地区まちづくり担当部長　渋滞といいますか、駅前の交通については、そういうことが起きない

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

ように何ができるのかというのを、道路の維持部隊の方と検討しておりまして、少しできそうなところがあるので、そこら辺をまちづくり連絡会の方で少し御紹介をしながら、実現していければというふうに考えてございます。

それと本と触れ合える場所につきましては、中央図書館と事業者の方と場を設けて相談はしているところで、通常の★★とかそういうところにある本の受渡し場所とはまた別に、カフェの特性を生かした本と触れ合える場所を中央図書館と連携してできないかということを今協議をしておりますので、どこまで実現できるかというのは、相手とこちらの条件がどう整うかというところでございます。検討は一生懸命やっているところでございます。

○へんみ圭二委員 これで最後にしますが、今、交通環境の改善に向けてできそうなことがあるというお話だったので、できそうなことは何なのか、教えていただければと思います。

○千住地区まちづくり担当部長 やはり子どもの通学路になって事故が怖いということもありますので、そこら辺、一時停止ですとか、そういう交通機能というのですか、少しくまく表示をして、車がしっかりと安全に走行していただけるような対策が練れないかということで今考えてございます。

○横田ゆう委員長 よろしいですか。

○くぼた美幸委員 私から竹の塚の取組、何点か伺います。

再開発事業のまちづくり説明会があつて、センターでホールでやったときは100名ぐらい来られて、あいう説明会でこんぐらいの人数が来るのは、結構多い方だなあと私は実感したのですが、その後のいわゆる平日、日曜もやってますけれども、センターの1階の会議室でやりました。初日だけちょっと顔出したのですが、センターの会議室というと、やはりそういう意識

を相当持った方々が来たのかなという感じがするのですよね。後で出てきますけれども、駅前の、例えば、ところにテント張ってやったり、通行してる人に声掛けたりするのではなくて、センターの会議の中でやってますよと、だから来てくださいという通知で来られたということは相当意識の高い人なのではないかなと、この220名。どんな方が来られているのか、簡単でいいですから教えていただきたい。

○まちづくり課長 くぼた委員おっしゃるとおり、非常に意見というか日頃、竹の塚のまちをこうしていきたいのだと思ってるというような方が多く来ていらっしゃったのかなというふうに思います。

その中でも、人数もありますけれども、時間も大体お一人の方、お話伺ったりとか、聞かせていただいたりすると、20分30分、多い方は2時間ぐらいいらっしゃった方もいらっしゃいますので、かなり熱心というか、お話をいただいたというふうに考えてございます。

○くぼた美幸委員 2時間という、どんな方なのだろうと、逆に疑問を持ちちゃいますけれども、それはそれとして、やっぱり今後のまちづくりに非常に関心のある方が多かったと思うのですが、年齢層的にはどうでした。

○まちづくり課長 年齢層的には、比較的やはり年配の方、多いかなという感じはしましたが、若い方もかなり来ていただいたというような、想像以上には来ていただいたなという印象を持っております。

○くぼた美幸委員 分かりました。意見の中に、前から私も聞いているように、やっぱり駅前の交番が見えるところにやってほしいとか、あとバリアフリートイレが欲しい。今は相当昔の昭和の時代に造ったトイレですから、駅から地下に下がって、夜なんか非常に怖いという意見がたくさんあって、また自転車の走行と歩道との縦割りというのか、そんなようなことであるとか、そんなようなこと

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

がやっぱり意見として出てるし、大体同じようなことをおっしゃってるなというのは非常に感じますので、この意見を非常に大事にして、次のいわゆる、後で聞きますけれども、エリアデザインのベースにしてほしいなというふうに思っております。

関連で、今後、10月にある道路上でのイベントの開催なのですが、これは、例えば竹の塚パークでやったり、あと駅前ところでやったり、あと商店街でやったり、これはそういうところに目立つパネルか何か掛けて、呼び込みではないけれども、お声を掛けながらいろいろな方に聞くというような、そんなようなイメージですか。

○まちづくり課長 まず、イメージパース、それを東口の駅前ところに掲げさせていただいて、そのイメージを一部分をつくっていくという形で、駅前広場のところも人工芝を敷いたりですとか、あるいは今、駐輪されないようにパイロンとポールでやっていますけれども、そこに椅子、テーブルを置いてみたらどうなるだろうですとか、あとまた道路を一部分通行止めにして、そこにキッチンカーですとか、あるいはまた、そちらにも椅子、テーブルとかいうような形でやっているとか、たけのつカー&パークのところでも人工芝、そこは効果があるので、雨にぬれないようなところでの空間の利用の仕方という形になるかと思っておりますけれども、御意見を伺っていきないうふうに考えているところでございます。

○くぼた美幸委員 何日間ぐらい想定してます。

○まちづくり課長 今、土日の2日間でできないかなということで想定をしているところでございます。

○くぼた美幸委員 例えばこのパースを、ずっと例えばミントポの壁とかあるではないですか。あと竹の塚パークのどっかとか、ああいうようなところにずっと置いといてもいいのではないですか。要は2日間だけパース見ても、やっぱりそれで忘

れちゃったら元も子もないし、あのパースというのはやっぱり将来設計のイメージだと思うのですよ。多くの人に私見てもらいたいと思うのですけれども、どうですか。

○まちづくり課長 くぼた委員おっしゃるとおりだと思います。多くの方に是非見ていただきたいと思っておりますので、イベントのときだけではなくて、ミントポの壁でございますので、URの方とも連携をして飾れるような形で考えたいと思います。

○くぼた美幸委員 是非お願いしたいと思います。

それで、さっき聞いたのは、大分熱心な方がこの前も来ました。今度10月にもこういったイベントをやって、多くの人に意見を聞きます。前にも何かミントポとかで、いろいろなところでいろいろ意見聞いていると思うのですよ。そろそろ集約して、区民の皆さんの大体の意見はこういうところだなというものをそろそろまとめて、きちっとした、いわゆる竹の塚のエリアデザイン、これをもうそろそろ出すべきではないのかな、そんな時期ではないのかな、そんなふうに考えてるのですけれども、その時期はいつぐらいに考えてます。

○エリアデザイン計画担当課長 竹の塚のエリアデザイン計画につきましては、今URとも打合せは随時行っておりまして、URの第三団地以外の団地につきましても、少し見通しが付いた時点で計画の方を策定していければと考えております。

○くぼた美幸委員 まだもうちょい掛かりそう。分かりました。

ただ、大分たつからね、そろそろ。TBOXもこの前答弁もらってるから、TBOX自体、もうなくなるわけでしょ。その辺のやっぱり説明もしてってほしいのですよ。いまだに駅ビルどうなりますかという興味もあるし、やっぱりその辺は丁寧な説明が必要ですよ。

あと東武の動きもある程度、言える範囲はどんどん言ってる、オープンにして、さっき言ったこんなパースもどんどんいろいろな人に見てもら

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

って、みんなでやっぱりつくり上げていくということが大事だと思いますので、是非よろしく願いたい。

最後、もう一つだけ。

この真ん中の都市計画の変更についてなのだけれども、これまた9月に開催するのだけれども、これは書いてあるのはよく分かるのだけれども、やっぱり建築にしろ、何をどう変更するのかなというのがよく分からない。これをやることによって、どこの何をどう変更するのか、ちょっと端的に教えてほしいのですけれども。

○まちづくり課長 分かりづらくて申し訳ございません。

今回変更するところにつきましては、東口の駅前のところ、市街地再開発事業を予定するところを地区計画で変更するというのと、あと駅前広場が今どちらかというと南北に長い形状になってございますけれども、先ほどくぼた委員ございましたようにTBOXのところも含めて、東西の方に長いような形状に変更をしていくということ。それと市街地再開発事業、この3つについて、都市計画の決定及び変更をしていくということで予定をしているところでございます。

○くぼた美幸委員 さっき言ったそのTBOXもなくなるよというの、この中で話は出すわけ。

○都市建設部長 先ほど御報告の中で、9月11日、12日に説明会を行います、その説明会のときにお使いする資料が今日お出しできればよかったのですが、今、鋭意作成中でございます。これについては議会の皆さん、また区民の方に分かりやすい資料づくり今しておりますので、機会を捉えて御報告させていただきますが、いずれにしろ、TBOXの部分も交通広場になりますので、そのような説明になろうかと思えます。

○佐藤あい委員 まず1点目、江北エリアの一括指定管理について、かねだ委員からも質問があった中での御答弁で、ちょっと分からなかった部分が

ありましたので、伺わせていただきます。

今回、この一括指定管理をするということで、経費の削減ということはあるのかと思うのですけれども、この地域住民にとって具体的にどのようなサービス向上を目指すのか。この一括指定管理になることで、どのようなサービスの質向上が考えられるかなど、教えていただけますでしょうか。

○エリアデザイン計画担当課長 地域の皆様につきましては、今回一括指定管理で民間のその力、経験ノウハウを入れることで、いろいろな幅広い世代に対応した事業、何でしょう、ソフト等を入れるかと考えております。

○佐藤あい委員 ありがとうございます。

この指定管理、任せる前の段階で今後、成果指標だったりとか、最低水準としてこういったサービス実現をしてほしいというような区としての明確な考えというのはあるのでしょうか。

○都市建設部長 足立区においても指定管理制度を活用した施設運営いっぱいありますけれども、当然自主事業という分野と、最低限区としてこれやってほしいという事業の切り分けになります。当然のことながら、提案に基づいて評価することになりますので、今回の江北地区に限らずなのですが、きちんと提案を受けた内容がきちんと区民に還元されていて、その内容がいかどうかというのはここに限らずしていく必要があると考えております。

○佐藤あい委員 ありがとうございます。

今回この一括になることで、こういったことをやってほしいというところはもう既に明確に区として持ってらっしゃるということでよろしいでしょうか。

○エリアデザイン計画担当課長 現在ヒアリングを行って、こちら一括することによってメリットが高そうだということであれば進めていきたいと思っております。今、今回ヒアリング結果としまし

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

では十分メリットあると思いますので、その内容で進めていければと考えております。

○佐藤あい委員 かしこまりました。是非区民のサービスの質の向上というところをしっかりと落とさないようにして進めていただければと思います。

次に、西新井・梅島エリアについて伺いたいと思います。

まず、こちらに関しましては、西新井駅、そして梅島駅という2つの駅の部分で、西新井駅は今中心にお話あったと思いますけれども、この梅島駅の役割とか、あと西新井と梅島をつなぐという中で、どういった役割を梅島の方には持っていくというふうに今考えてらっしゃるかを伺わせてください。

○中部地区まちづくり担当課長 今回のアンケートに関しては、西新井駅、特に西口駅周辺ということでやらせていただきました。その中でもやはりそういった全体に関わるような問題点というのがありますし、よく区民の声でいただく内容としては、高架下を西新井公園を整備するときに、うまく活用できないかですとか、あとそういった梅田の八丁目の複合施設ですね、そういったところとか西新井公園の回遊性、そういった中で西新井駅と梅島駅を結ぶようなルートであるとか、そういったところを今後まちづくりとして、エリア一体で考えていけたらいいなというふうに考えております。

○佐藤あい委員 ありがとうございます。

その回遊性というところでは、実際に仕掛けが必要かなと考えております。実際に、例えば梅島エリアですけれども、昨年まではN祭が梅島エリアを回遊するイベントとして、目的としてはNPOの活動を知っていただいたりというものではありませんけれども、実際にその回遊型ということで梅島エリアでは唯一のイベントでありましたので、あのイベントがあることで、日頃あまり通らない道だったりとか、行かない施設を利用していただ

いたり、特に新しい出会いがあったりということで、そういったお声もいただいておりますけれども、そのN祭のような回遊型の取組について地域回遊ですとか、地域のつながりという視点でN祭を受けて、その成果ですとか、課題が何かあったかというのはどのように、何かお考えありますでしょうか。例えば回遊型イベントやったことに対して今後、エリアデザインにも生かせる部分というところについて何かあればと思います。

○工藤副区長 梅島と西新井を一体的に名称でエリアデザインやっていくというのは、梅田八丁目とまず西新井中心だったのですけれども、梅田八丁目ができると、今の梅田図書館ですとか、それ以外の公共施設にも影響していきますので、やっぱり面的なそういった開発を考慮して、先ほどぬかが委員からお話があった公有地をいかに活用していくか、そういうことの発想でやっていきたいなということです。

それでN祭をやりました。やっぱりそれは、これから梅田八丁目ができたり、いろいろな人が変わっていくことによって、どういったようなイベントですとか、そういったまちづくりを進めていくのがいいかということのヒントになるようなイベントというのはやっていきたいというふうに思ってます。

それとすみません、先ほど江北の質問で、かねだ委員からも質問ありましたけれども、いわゆる一括指定管理することによって何がメリットかというのは、私どもはおのずと健康になれるまちというのを目指してあの一帯を進めてます。それで今ヒアリングを行って、どういう提案ができるのかというのを聞いて、その上で本当に一括指定管理が区民が望むものになるかどうかという判断させていただいて、そして私どもは一括にした方が、規模的な面ですとかコストから有効だと思ってますけれども、本当にそういう点が出てこなければ、また考え方を見直す必要もあるかもしれませんけ

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

れども、できれば私どもは一体的に進めていくのがいいのではないかなというに考えてます。

○佐藤あい委員 ありがとうございます。

もう一括指定管理ありきということなのかと思っていたのですが、まだ確定ということではなくて、しっかり検証もしていただくということで、江北の方、承知いたしました。ありがとうございます。

西新井・梅島に関しましては、このN祭は回遊イベントでは今年はなくなるというような状況ですけれども、今後その西新井・梅島のエリアデザインを考える中で、是非その西新井・梅島を回遊していただけるようなイベント等を検討していただきながら、こういったルートを通っていただきたりとか、そういったところで課題等も出てくると思いますし、今後のエリアデザインのヒントにつながっていくのかなと思いますので、是非検討を進めていただきたいなと思っております。

また今回、区民意見ですね、西口に関しては多くの御意見をいただいているという中でございますけれども、こちらについては様々な年代の方にも御回答いただいているようですが、属性ですとか、特に年代は幅広くかなというふうには見ていたのですが、不足しているような層とかは特になという認識であるのか、偏り等あると感じていらっしゃるのか、このあたりどのように捉えていらっしゃいますでしょうか。

○中部地区まちづくり担当課 別添資料の4ページに年代がありまして、まず年代のところからお話すると、幅広くお答えいただけていますが、20代以下のところですね、10代の方が一緒になっておりますが11人で、ウェブで1人というところなんです。ですので30代、40代、50代の方はウェブで回答があるのでございますけれども、10代の方ですと、逆にというかウェブが少なくなっていたりというところがあります。今子どもですとか若者にも御意見を聞いていくというところがありま

すので、こういったアンケートとは別に、そういったことで若い方々の御意見というものをビジョンに取り入れられないか、今検討しているところです。

○佐藤あい委員 ありがとうございます。

若者の意見というところは、ほかのエリアに関しても全て通じる部分であると思いますので、しっかりとこの若者の意見というのが、まずは伺っていけるように、そしてそこを反映していけるようにということをしっかりと進めていただきたいと思います。

また、このいただいた意見に関して、その後どのように扱われたのかというのは区民の方へのフィードバック、どのようにされていかれるのでしょうか。

○中部地区まちづくり担当課長 こちらの御意見、課題ですね、魅力と課題を合わせた形でビジョンをつくっていくので、そちらの方、骨子として皆様にフィードバックして、そちらについてまた更に御意見伺えるように今準備を進めております。

○佐藤あい委員 承知いたしました。お願いいたします。

最後に、先ほど他の委員の皆様からもありましたけれども、梅田八丁目についてなのですが、実際この梅田八丁目というのも含めてエリアデザインとして重要な部分であると思います。今、建築コストの高騰しているというような状況の中で、精査をいただいているというような状況かと思いますが、区民の方から心配をされている御意見としましては、コストをどんどん下げていくというところに力を入れ過ぎて、実際にもともと梅田八丁目の複合施設で実現したかった目的というのが達成できないということになってしまっていて、ただの図書館などが入ってる複合施設になってしまうというのが、とても懸念されているという状況でありました。なので価格面だけではなくて、しっかりとこの梅島・西新井エリアに人を呼び込

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

むとか、滞在していただく、交流をしていただく居場所としていくというような価値のある施設を造っていく必要があると思いますし、コストをカットしていくという中で、それでもかなりの金額は掛かると思います。施設を造っていくと。一度造ってしまいますと、長年使っていく施設になりますので、そういった部分で、施設の価値機能というのをどのように両立させていくお考えかというのを伺いさせていただきますでしょうか。

○勝田副区長 今、いろいろと設計の方見直している中では、やはりこれまで施設が持ってきた施設のコンセプト、そこは確保する必要があるのかなと思っておりますので、見直しについてはコンセプトありきで一応見直しをしているところでございます。

○佐藤あい委員 ありがとうございます。

正に、そういった今の検討状況というのを、是非地域の方により分かりやすくお伝えをしていただきたいなと思います。公共施設含め様々なエリアで見直しだったり、ストップしている事業が足立区に限らず多くなっているという中で、梅田八丁目も、このまま更地のままずっと続いてしまうのではないかと心配のお声ありますので、是非しっかりと進めていくのだということを区の方から発信をしていただきたいなとは思いますが、最後にいかがでしょうか。

○勝田副区長 その点につきましては、コンセプトも含めてきちんと精査をした上で、また御報告をしたいと思います。

[横田ゆう委員長退席、かねだ正副委員長着席]

○横田ゆう委員 私の方からは、竹の塚エリアデザイン取組について少し質問したいと思います。

先ほどくぼた委員からもありましたけれども、この間も6月の20日の竹の塚学習センターでまちづくり説明会があったのですが、本当に貴重な意見がたくさん出されました。

再開発については、バリアフリートイレですね。

それから公共事業については、地域の人が座ってお茶を飲めるようなスペースですとか、自転車の問題、それからシンボルツリーとか、それから日陰対策で木をいっぱいこう植えていくとか、そういう意見がたくさん出されておりまして、特にトイレというのは先ほどもくぼた委員からありましたけれども、階段を下りていけないといけない。非常に危険で高齢者は使いにくかったりとか、それから駅の中にあるトイレは1つしかなくて、健常者と障がい者が一緒に使うような、それで1つしかないのですね。本当の障がいのある方は使えないような、鍵の掛け方が指先でやらないといけないような、そういう仕様になっていて、本当に早急な改善が必要なところがあります。やっぱりこのトイレについては早急に取り組んでいただきたいし、これらの要望をしっかりと受け入れて、計画に反映させていただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

○まちづくり課長 トイレについては、横田委員おっしゃるとおり今の地下のトイレというのはバリアフリーになってございませんので、市街地再開発事業で新しい建物を建ててまいりますので、その中にトイレが設置できるようにということで、これから計画づくりしていきますけれども、考えていきたいと思います。

あわせてベンチですとか緑ですとか、そういったことも種々御意見いただいとてでございますので、これから計画をつくっていく中で精査をしていきたいと思います。

○横田ゆう委員 それから、これも先ほどくぼた委員の方からありましたけれども、透明性ということで、どこで何が決まってるのかというのが明らかにならないままこう進んでくるような傾向があって、やはりそこはきちんと三者で、東武とURと区といろいろ話し合って協議をしていく中での経過ですとか、そういうものをしっかりと公開していただきたいというふうに思いますが、どうで

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

しょうか。

○都市建設部長 今回の御指摘のことについてなのですが、今まで当委員会で、基本的な事項については御説明、御報告してきたと思っております。そういう御指摘があるということでもありますので、いずれにしても秘密裏に進めていく事業では決してありません。再開発事業でございますので、公平性が担保されなければいけませんので、そういう意味ではきちんと情報提供はさせていただきます。

○横田ゆう委員 それから、この説明会の中で西口の方の保健所の跡地はどうするのかということで質問ありましたが、そういうやっぱり区有地をきちんと有効活用していくということが非常に重要だと思うんですね。そして、その問題とそれから竹の塚学習センター、ここには図書館機能、それからホールもあります。今の図書館というのは、もう本当に例えばカフェがあったりとか、交流できるスペースがあったりとか、荒川区のゆいの森とか、私たちも区民委員会でいろいろなところを視察行きましたけれども、すてきな図書館がたくさんあるのです。そういうものをしっかりと取り入れたりとか、ホールについては、やはりこの現状維持、又はもっと集客が多くなるようなそういったものをちゃんとこの機能を生かした、今のままではなく、もう45年以上、50年近くたってるわけですから、しっかりと計画を今から立てて、区有施設の有効活用していただきたいというふうに思いますが、いかがでしょうか。

○エリアデザイン計画担当課長 今、横田委員御指摘いただいたとおり、今あるものをそのまま持ってくるのではなくて、新たな今の時代に合ったものというところで、地域の皆様からも少し居場所でしたり、そういった御意見いただいとこでございます。つきましては、竹の塚エリアの公共施設の再編というところも見据えながら公共機能等を考えていければと思っております。

○横田ゆう委員 是非よろしく願いいたします。

[かねだ正副委員長退席、横田ゆう委員長着席]

○横田ゆう委員長 それでは、質疑なしと認めます。

————— ◇ —————

○横田ゆう委員長 次に、その他に移りますが、何かございますか。

○しぶや竜一委員 1点だけ。

先ほどから江北のところで、指定管理とこのちょっと話が出たのですけれども、今かねだ委員ともちょっと話してて、以前も事前に、今、今日担当課長いらっしゃらないので、副区長か部長に答えてもらう形なるかと思うのですけれども、上沼田東公園の野球場で、大人の方が利用してボールをフェンスを飛び越えてしまって、使えなくなってしまったと。やむを得ず利用ができなくなってしまった。今一時多分中断している状況だと思うのですけれども、普通であれば、これ自分にも多分報告して欲しい早く、課長が報告してくれたこと大変ありがたいのですけれども、やっぱり事前に私も過去に上沼田東公園の野球場のときには、やっぱりそういった★★の距離であったりとか、ベースの距離であったり細かく、ネットの距離であったりとか、様々なところを聞かせていただいて、少なからずこういうことが絶対起きないように、★★シミュレーションで必ずコンピューターを使って野球場のやつ、多分やると思うのですよ。そういったところの甘さというか、ところがあってこの指定管理の話につながると思うのですけれども、そういったところが起こっている事態を、区として改めてどう思ってるのかということを知りたいのですけれども、いかがですか。

○道路公園整備室長 しぶや委員おっしゃるとおり設計の段階で、一応コンピューター解析という形で打球のラインとかはやらさせていただいております。

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

ただ、現場の制約上、あそこ鉄塔等があって、それ以上一定の高さのネットが張れないというようなものもございまして、あとは思ったより結構皆さん飛ぶバットとか使ってるというところでちょっと超えてしまうのがあるというようにとございまして、今その注意喚起というか、なるべく実際被害に遭ってる民家の方もございまして、その辺をどう折り合いつけるかというのはちょっと検討させていただきたいと思います。

○しづや竜一委員 ありがとうございます。

というのも、せっかく硬式野球場の話も今いろいろさせていただいて、硬式野球ボールとかも使えるようにキャッチボールとかをしてくださったことがあったと思うのですが、こういったことが起きちゃった以上、またそういった硬式野球に対してのリスクであったりとか、またそういったことが生まれてしまつて、なおさらマイナスの方向に行ってしまうことが本当に残念で仕方なくて、やっぱり今、飛ぶバットと道路公園整備室長おっしゃいましたけれども、今は多分ビヨンドマックスとか、そういう軟式野球の飛ぶバットは、多分今後、もう禁止になるというのが正式に軟式野球連盟とか、野球の連盟の方でたしか決まってると思うので、それはいずれ多分そういったところではもう考えて踏まえて、多分その防球ネットとかを作っていかなきゃいけないのかなと思うのですが、今後その防球ネットは延長するつもりはあるのですか。数百万円から数千万円、まして1億円とか掛かる規模ぐらいのハード面のところのコストが掛かってくる中で、区としてはどうなのですか。

○道路公園整備室長 ネットについては、東電の鉄塔の高さの規制がございまして、ちょっとなかなか今難しいというふうに考えております。あとはその野球の利用者ですか、その辺の方々ともう少しお話をさせていただいて、お互いどこまでどう協力できるとこあるのかというところを、一度

詰めさせていただきたいなと思います。

○しづや竜一委員 本当に非常に難しい問題かなと思うのですが、ただ下手したら子どもでも普通に超えるような、大人でもと言いましたけれども、子どもでも超えちゃうのではないかなと思うのがあって、そうすると本当に野球場としての意味がなさなくなってしまう、あんなにすばらしい人工芝の野球場が本当に利用停止ということになってしまうことも考えなきゃいけないのかなと、自分は思っちゃったのですよね。やっぱりそれは今後、踏まえてちゃんと先ほど協議していただくということだったのです。これかなりこれ大掛かりなことになっちゃうのかなと思うことも踏まえて質問させていただいたので、これは順次、私の方にまた、この委員会にも報告をしていただければと思うのですが、再度いかがですか。

○道路公園整備室長 しづや委員おっしゃるとおり、しっかりいろいろと協議し合った中で、改めてまた議会の方にも御報告させていただければと思います。

○横田ゆう委員長 ほかに質疑ありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○横田ゆう委員長 質疑なしと認めます。

以上で、エリアデザイン調査特別委員会を閉会します。

午後3時28分閉会